

新春挨拶

新年のご挨拶



泉 信也

元国土交通副大臣 参議院議員

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

初詣に寄せられました願い事が叶えられ、今年こそ明るい兆しが見える良い歳になりますようお祈り申し上げます。

昨年は二人の日本人がノーベル賞を受賞されました。ことに田中さんは未だお若く、企業の方であり、あのお人柄が、重苦しい世間を明るくいたしました。また、今後も日本人の受賞者が続くとの小柴先生のお話は、これまた何か嬉しい気分でございました。今年も吉報を楽しみにいたしたいと存じます。一方、一昨年ニューヨークのテロ事件以来、バリ島やモスクワ劇場事件など世界の各地に不穏な動きが見られました。加えて、許しがたい北朝鮮の拉致問題、イラクの核開発疑惑など国際間は緊張した状況が続いています。

厳しい時代が続きますが、今年はどうなるのでしょうか。諸々の手を打っているにもかかわらず、経済の状況は更に一層深刻になることも予想されています。補正予算を通常国会冒頭に成立させ、国内需要の創出とセフティネットの充実を急いだとしても、さらにアメリカ経済の後退が憂慮されます。

国民の生命・財産を守る立場にある政治は、今こそ本来の使命を果たすべき、天下分け目の年であると認識しています。

人間界の知恵の無さをあざ笑うがごとく、自然界の季節は誠に穏やかに時を刻んで参ります。良寛の句に『形見とて何か残さむ 春は花 山ほととぎす 秋はもみぢ葉』というのがあります。もともと日本人はこのような自然とのかかわり合いの中で生きてきました。ところが経済至上主義が日本人の本性を損ない、不平不満を常につのらせ、欲望型の人間をはびこらせたのではないかと思います。不景気からの脱出のためにも、全く論理的ではありませんが、自然にひたり、堪能する余裕をもちたいものです。

間もなく、日本の総人口が減少するという、これまでに経験したことのない時代がやって来ます。未曾有の時代を前に、しなやかな社会の仕組みや国づくりを急がねばなりません。その一翼を担うべく、この一年に全力を尽くして参ります。変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

終わりに、(社)日本作業船協会のご発展と皆様のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

平成15年元旦